

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 3 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市中区本町6-50-10

氏 名 横浜市長 山中 竹春

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 045-671-2121

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 231-0005 神奈川県横浜市中区本町6-50-10
氏 名	横浜市長 山中 竹春

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	ヨコハマシリツミナトセキジュウジビョウイン
病院名	横浜市立みなと赤十字病院

3 所在地

〒 231-8682 横浜市 中区新山下3-12-1 電話： (045)628-6100
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
50床	0床	0床	0床	584床	634床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>18</u> 床 (主な設備) 救急蘇生セット一式、除細動器2台、ペースメーカー4台、心電計2台、ポータブルエックス線撮影装置1台、頭蓋内圧モニタ1台、スワングアンツモニタ2台、心拍出量モニタ3台、搬送用人工呼吸器1台、MRI用人工呼吸器1台、非侵襲的陽圧換気2台、高流量酸素システム8台、呼吸循環監視装置・経皮的酸素分圧監視装置・経皮的動脈血酸素飽和測定装置3台、心電図モニター装置23台、人工呼吸装置8台、微量輸液装置40台(輸液ポンプ20台、シリンジポンプ20台)、超音波診断装置2台、電解質定量検査装置・血液ガス分析装置2台、血液凝固計1台、血漿融解装置1台、自動体温管理装置3台、気管支内視鏡2台、リフト式体重計1台、電気メス1台、無影灯1台、熱傷ベッド1台、トータルケアベッド10台、自家発電装置(エネルギーセンターに設置)、血小板振盪器1台
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析器3台、多項目自動血球分析装置3台、遠心器7台、化学発光免疫装置3台、卓上型分析器4台(NH32台、浸透圧1台、血沈1台)、試薬保冷库5台、検体保冷库2台、血液ガス分析装置1台、尿分析装置1台、尿中有形成成分分析装置1台、血液凝固分析装置2台、糖分析装置1台、HbA1C分析計1台、便潜血分析装置1台
細菌検査室	(主な設備) 全自動同定感受性測定装置1台、全自動血液培養装置2台、手法同定感受性測定装置1台、菌液分注機1台、顕微鏡2台、安全キャビネット1台、孵卵器6台、遠心機1台、試薬保冷库4台、検体保冷库2台
病理検査室	(主な設備) 安全キャビネット1台、試薬用冷蔵庫4台、マイクローム2台、自動染色装置1台、自動封入装置1台、自動免疫染色装置1台、顕微鏡7台、ディスクッション顕微鏡1台、顕微鏡電子カルテ用大型ディスプレイ投影装置1台、パラフィン包埋ブロック作製装置1台、自動包埋装置2台、カセット印字装置2台、スライドガラス印字装置2台、写真撮影装置1台、局所排気装置1台、プッシュプル型換気装置4台、遠心機1台
病理解剖室	(主な設備) 感染症対応解剖台1台、遺体保冷库1台、遺体体重計1台、写真撮影装置1台
研究室	(主な設備) ARMS(遠隔医療による喘息管理システム)、EARTH(粉塵・花粉・気象ネットワーク)
講義室	収容定員 <u>178</u> 人 室 数 <u>3</u> 室
図書室	室 数 <u>2</u> 室 蔵 書 数 <u>3,251</u> 冊程度 雑 誌 <u>2744</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>4</u> 台 (内訳: 救急車2台、医師搬送用緊急自動車2台) (主な設備) 酸素供給装置、AED、日赤業務無線、衛星電話、吸引器、プリンタ、FAX、Wi-Fi、PC用モニタ2台、ワンセグテレビ、事務機
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>24.5</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	84.9%
	①紹介患者数	16,249人
	②初診患者数	32,806人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	2,666人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	11,001人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	133.8%
	⑦逆紹介患者数	25,607人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	243人	歯科医師	5人	看護師	646人
薬剤師	41人	臨床検査技師	49人	臨床工学技士	12人
診療放射線技師	36人	保健師	3人	看護補助者	50人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	33床
専用病床	33床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	474.6㎡	処置室2、診察室5、リカバリー8床、X線撮影室1、CT室1、生体情報モニター、超音波診断装置、パルスオキシメーター、電気式心肺蘇生器(心臓マッサージ器)、X線撮影装置、CT(64列)他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救急病棟	734.1㎡	解析付心電図、セントラルモニタ、心電呼吸送信機、超音波画像診断装置、解析付セントラルモニタ、生体情報モニタ、テレメトリー式心電送信機他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
集中治療室	1,381.5㎡	人工呼吸器、連続心拍出量測定装置、超音波画像診断装置、除細動器、サーモガードシステム、体外式ペースメーカー、生体情報モニタ	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
NICU	98.1㎡	人工呼吸器、超音波画像診断装置、光線治療器、除細動器	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	2,049.0㎡	超音波画像診断装置、全身麻酔器、手術用顕微鏡、手術用内視鏡、生体情報モニタ、ハイブリッド手術室(天井走行式Ωアーム型保持装置、床置き式Cアーム型保持装置等)、手術支援ロボットダヴィンチ、経皮的な心肺補助システム	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
心カテ室	356.4㎡	心臓カテーテルモニタリングシステム、ベッドサイドモニタ、超音波画像診断装置、ジェネレーター、高周波カテーテルアブレーション装置、電気メス	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
画像検査室	768.2㎡	CT80列、CT128列、3.0TMRI、PET/CT室、MRI室、MRI1.5T 2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
検査室	677.4㎡	生物顕微鏡システム、心電計、脳波計、運動負荷心電図システム、超音波画像診断装置、光学顕微鏡、誘発電位筋電計、呼吸機能情報管理システム	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

平成21年4月1日付で、神奈川県から「救命救急センター」の指定を受ける。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1) 救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	12,812人
	(9,884人)
上記以外の救急患者の数	6,946人
	(4,165人)
合計	19,758人
	(14,049人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A : 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	12,812人
B : 救急医療圏(2次医療圏)人口 [※]	3,767,635人
C : $A/B \times 1,000 > 2$	3.4

※2023年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	966施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	966施設
医療機器共同利用件数	966件
共同利用病床数	19床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

(注) 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	819施設

(注) 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注) 承認要件—開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注) 登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別添 令和6年度 研修実績 参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	20回
(2) (1)の研修参加者数	689人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	157.30㎡	(主な設備) スクリーン、OHP、ビデオデッキ、インターネット配線、マイク設備、録音装置、スピーカー、ホワイトボード、ビデオモニタ、テレビ、会議机31台(うち15台が倉庫)、椅子131脚(うち81脚が倉庫)
小会議室1	78.00㎡	(主な設備) スクリーン、テレビ、ビデオデッキ、インターネット配線、マイク設備、会議机12本、椅子36脚
小会議室2	81.00㎡	(主な設備) テレビ、インターネット配線、会議机12本、椅子36脚
災害対策室	78.90㎡	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、テレビ、モニター、テレビインターネット配線、ホワイトボード、防災電話、衛星電話、防災無線用アンテナ、防災FAX、会議机11本、椅子25脚
7階カンファレンスルーム	43.70㎡	(主な設備) 会議机11台、椅子28脚(うち丸椅子8脚)、電子カルテ、インターネット配線
スキルラボ	212.90㎡	(主な設備) 会議机12台、椅子35脚、ホワイトボード、スピーカー、マイク 詳細は別添みなとスキルラボ機器・物品一覧

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		事務部長
管理担当者(役職名)		総務課長 医療情報課長
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)		総務課、電子カルテ、薬剤部、各科外来、医療連携課、病歴室
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医療連携課
	救急医療の提供実績	救急災害業務課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	医療連携課
	閲覧実績	医療連携課
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	医療連携課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	事務部長		
閲覧担当者(役職名)	医療連携課長		
閲覧の求めに応じる場所	療養・福祉相談室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>1. 令和6年6月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の取組み 稼動状況・救命救急センター受入状況 ・医療連携センターの取組み ・みなとからのトピックス 緩和ケア病棟の再開について ・令和6年度地域医療支援委員会の開催について ・地域医療連携に対するご意見ご要望 <p>2. 令和6年8月23日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の取組み 稼動状況・救命救急センター受入状況 ・医療連携センターの取組み ・みなとからのトピックス 第3回みなと医療連携交流会の開催について ・第64回地域医療支援委員会の開催について ・地域医療連携に対するご意見ご要望 <p>3. 令和6年11月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の取組み 稼動状況・救命救急センター受入状況 ・医療連携センターの取組み ・みなとからのトピックス 第65回地域医療支援委員会の開催について ・地域医療連携に対するご意見ご要望 <p>4. 令和7年2月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の取組み 稼動状況・救命救急センター受入状況 ・医療連携センターの取組み ・みなとからのトピックス 第66回地域医療支援委員会の開催について ・地域医療連携に対するご意見ご要望 	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
	「その他」記入欄
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	療養・福祉相談室(看護師・MSW・PSW・事務)
患者相談件数	11,578件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 転院 (医療機関) 19,959 件 ・ 在宅介護・療養生活 15,418 件 ・ 他福祉関係法 項目なし ・ 受診・受療 1,206 件 ・ 経済的問題 750 件 ・ 他施設利用 項目なし ・ 心理・情緒的問題 項目なし ・ 家族関係 96 件 ・ 高額療養費 (制度活用) 820 件 ・ 虐待・暴力・人権 576 件 ・ 就労・職場環境就学・教育環境 239 件 ・ 就学・教育環境 単独集計なし ・ その他 8,251件 <li style="padding-left: 20px;">(入院療養生活・医療者との関係・日常生活・死後対応) ・ がん相談 2,833件 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年3月 財団法人日本医療機能評価機構 医療機能評価Ver5.0認定 ・平成24年3月 財団法人日本医療機能評価機構 医療機能評価Ver6.0認定 ・平成29年3月 財団法人日本医療機能評価機構 医療機能評価一般病院2 3rdG Ver1.1認定 ・平成29年6月 公益社団法人日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定 ・令和2年9月 一般財団法人日本医療教育財団 外国人患者受入れ医療機関(JMIP) 認証 ・令和4年9月 財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価 一般病院2 3rdG:Ver.2.0 / ・高度専門機能「救急医療・災害時の医療」Ver.1.0 認定 ・令和5年9月 一般財団法人日本医療教育財団 外国人患者受入れ医療機関(JMIP) Ver2.1 更新 		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ (病院概要、受診方法、外来体制表、診療実績、トピックス等随時更新) ・NEWS RELEASE 年5回発行 (院外向け病院のトピックス発信) ・診療科案内2024 年1回発行 (地域医療機関医師向け診療科情報発信) ・市民公開講座 年1回実施 (当院医師および医療職による、当院の役割や予防医学、最新治療等の情報発信)(みなと市民セミナー) ・市民公開講座 (関節リウマチ教室・膠原病教室・成人ぜんそくアレルギー教室・小児ぜんそくアレルギー教室) ・糖尿病講座・腎臓病教室 ・横浜・川崎がん病病連携会市民公開講座の開催 (R6年度は第6回目、R7.2.2開催) ・医療機関向け広報誌「みなとからの風」年3回発行 (診療科紹介、部門等病院機能の紹介、診療体制変更等のお知らせ、共同利用機器案内等) ・職員向け広報誌「医療連携センターNews」年3回発行 (職員向け医療連携に関する啓発活動) ・病院内情報掲示 (病院概要、受診方法、診療科案内、診療実績、トピックス等(随時更新)) 		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・体制:医療連携センターマニュアル、入退院支援マニュアル、虐待防止対策マニュアル ・転帰先:在宅 8583件、一般病院 401件、包括ケア 346件、 ・回復期病院 376件、精神病院 182件、療養型病院 67件、 ・有料老人ホーム 279件、介護老人保健施設 25件、 ・特別養護老人ホーム 103件、グループホーム 39件 		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん術後地域連携連携クリティカルパス ・乳がん術後地域連携クリティカルパス 		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<p>地域の患者に切れ目ない医療を提供するべく、疾患別パスの導入を、院内で地域医療連携の啓発をするべく地域医療連携推進委員会で普及、推進する。</p>		

横浜市立みなと赤十字病院 施設・設備等の共同利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、横浜市立みなと赤十字病院（以下病院という。）の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具（以下「施設・設備等という。」）の共同利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用者)

第2条 病院の施設・設備等の利用者は、登録医規程に定める登録医および地域医療機関従事者とする。

(担当窓口)

第3条 施設・設備等の共同利用に係る窓口は、病院の医療連携センター医療連携課とする。

2 医療連携課は施設・設備を共同利用する医療機関との連絡・調整、共同利用に関する協議および情報の提供などの業務を行う。

(共同利用の対象施設・設備等)

第4条 共同利用することができる施設・設備等については、次のとおりとする。

(1) 病院長が指定する高度医療機器

- ・コンピュータ断層撮影装置 (CT)・磁気共鳴画像装置 (MRI)
- ・核医学検査装置 (RI)・陽電子放射断層撮影装置 (PET/CT)
- ・骨密度測定に係る装置 (DEXA)・乳房 X 線撮影装置 (マンモグラフィ)

(2) 病院長が指定する開放型病床 (19 床)

(3) 図書室

(4) 前各号に掲げるもののほか、院長が必要と認める施設・設備等

2 病院長は共同利用することができる高度医療機器等を定めるとき又は変更したときは、登録医に周知しなければならない。

(利用時間)

第5条 共同利用が可能な時間は、次に掲げる日を除いた日の 8:30 から 17:00 までとする。ただし、病院長が必要と認めるときはこの限りではない。

(1) 土曜日および日曜日

(2) 国民の祝日

(3) 年末年始の休日として病院が定める日

(利用申込)

第6条 共同利用しようとする者は、医療連携課を経由して病院宛てに各施設・設備等に応じた「申込書」を提出しなければならない。

(問題の解決)

第7条 登録医と病院との間で何らかの問題が生じた場合、当該登録医と病院長とが協議し、問題を解決するものとする。

(共同利用に関する協議)

第8条 当院の施設・設備等の有効かつ円滑な共同利用を推進するために、必要な事項は、病院の地域医療支援委員会において協議し、決定されるものとする。

2 その他、運用に関する必要な事項は、病院の地域医療連携推進委員会にて協議し、決定されるものとする。

附則 この規程は、平成18年4月3日から施行する。

附則 令和2年11月2日 改定

以上

横浜市立みなと赤十字病院 登録医規程

(目的)

第1条 この規程は、横浜市立みなと赤十字病院（以下病院という。）が地域医療支援病院として近隣地域の医療機関を支援すること目的に定める。また病院と登録医が相互に協力して機能分化を明確にし、医療連携の推進を図ることで当該地域に良質な医療を提供する。

(対象範囲)

第2条 登録医の対象は病院の存する中区および隣接する3区（磯子区・南区・西区）で開業している医師・歯科医師とする。

2 新規開業の登録対象は第2条と同様とする。なお、病院のOB・OGの医師・歯科医師の場合は除く。

3 登録医拡大募集を年1回行う。募集要項は登録医募集に関する取り決めに定める。

(登録・有効期間・更新・登録の取り消し)

第3条 希望する医師が個人で、氏名及び必要事項を所定欄に記入した登録医申込書を横浜市立みなと赤十字病院院長（以下病院長）に提出する。

2 病院長は申込書を以って、登録医として認めた医師に登録証および名札等を交付すると共に、病院内およびホームページ等へ登録医名および医療機関名、医療機関ホームページURL等を掲載する。

3 登録の有効期限は2年間とする。但し、有効期間終了時に登録抹消の意思表示が無い場合には、自動的に更新される。

4 病院長は、登録医が登録医としてふさわしくないと認めたときには、当該登録医と病院長とが協議の上、その登録を取り消すことができる。

(登録医の権利・待遇)

第4条 登録医は、自身が病院に紹介した患者について、病院担当診療科部長の認める範囲において、主治医立会いのもと、次のことに関わることができる。

- (1) 患者との面談
- (2) 診療録、検査成績、画像資料の閲覧
- (3) 検査や特殊な診療の見学
- (4) 手術助手、検査実習などの研修診療（無報酬）

2 共同利用することができる施設・設備等については、次のとおりとする。

- (1) 病院長が指定する高度医療機器
 - ・コンピュータ断層撮影装置（CT）・磁気共鳴画像装置（MRI）
 - ・核医学検査装置（RI）・陽電子放射断層撮影装置（PET/CT）

- ・骨密度測定に係る装置（DEXA）・乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィー）
 - (2) 病院長が指定する開放型病床（19床）
 - (3) 図書室
 - (4) 前各号に掲げるもののほか、院長が必要と認める施設・設備等
- 3 登録医は施設基準に係る連携体制の受入の依頼を申し込むことができる。
 - 4 病院で開催する学術集会、講演会、臨床病理検討会、症例検討会、抄読会などの医学集会に参加できる。
 - 5 病院の図書室で蔵書する図書の閲覧、文献のコピー。（原則無料）
 - 6 登録医からの紹介患者は、可能な限り優先的に診療を行う。
 - 7 登録医にかかる登録費は無料とする。
 - 8 登録医に病院構内の所定の場所（地上）の駐車許可証を発行する。駐車料は、無料とする。
 - 9 院内にある登録医ボードに登録医名を掲載する。
 - 10 病院のホームページに登録医名の掲載及び医療機関のホームページをリンクさせることや登録医の希望する写真や PR 文を掲載する。
 - 11 病院から患者を地域医療機関への紹介するときは、専門領域等を勘案し、登録医を優先的に紹介する。
 - 12 登録医慶弔規程については別に定める。

（登録医の責務）

- 第5条 登録医は、病院内では病院職員に準ずる諸規定を遵守するものとし、病院において知り得た紹介患者およびその家族などに関する個人情報について、守秘義務を負うものとする。
- 2 登録医自身の紹介した患者の情報は診療目的外には使用しないものとする。
 - 3 登録医が病院を利用する際には、事前に医療連携課（平日 8:30～17:00）に連絡の上、当日は登録医訪問記録に必要事項を記入し、病院内では名札を着用すること。

（問題の解決）

- 第6条 登録医と病院との間で何らかの問題が生じた場合、当該登録医と病院長とが協議し、問題を解決するものとする。

（その他）

- 第7条 この規程に定めるもののほか、関係する規程は別に定める。

附則 この取り決めは、平成18年4月3日から施行する。

附則 令和2年11月2日 改定

附則 令和5年3月6日 改定

附則 令和6年3月4日 改定

令和6年度地域の医療従事者に対する研修

回数	開催日	テーマ	担当部署・講師	参加人数	参加人数内訳
1	5月17日	第286回みなのセミナー 第15回病理診断連携症例検討会	病理診断科部	15	院外 3名 院内 12名
2	5月21日	感染対策向上加算 合同カンファレンス	感染管理室	26	院外 21名 院内 5名
3	6月12日	第287回みなのセミナー CKDブラッシュアップセミナー	腎臓内科	29	院外 22名 院内 7名
4	7月9日	感染対策向上加算 合同カンファレンス	感染管理室	26	院外 21名 院内 5名
5	8月6日	指導強化加算 施設訪問	感染管理室	5	院外 2名 院内 3名
6	9月27日	第288回みなのセミナー 緩和ケア連携講演会	がんセンター	45	院外 19名 院内 26名
7	10月8日	感染対策向上加算 合同カンファレンス	感染管理室	31	院外 25名 院内 6名
8	10月23日	第289回みなのセミナー より良い在宅療養支援をめざして ～急性期病院と地域のACPIについて共に考える～	医療社会事業課	117	院外 49名 院内 68名
9	10月26日	第291回みなのセミナー アレルギーケア研修会	アレルギーセンター	17	院外 15名 院内 2名
10	11月7日	第290回みなのセミナー 横浜市「みなの」認知症患者医療センター 2024年度 かかりつけ医認知症対応力向上研修(地域連携・制度編)	認知症患者医療センター	35	院外 32名 院内 3名
11	11月13日	第3回みなの医療連携交流会	医療連携センター	188	院外 132名 院内 56名
12	11月15日	第17回横浜(南)がんリハ病連携会	リハビリテーション科	9	院外 3名 院内 6名
13	11月22日	第292回みなのセミナー 第16回病理診断連携症例検討会	病理診断科部	15	院外 3名 院内 12名
14	12月8日	令和6年度 第15回 緩和ケア研修会	がんセンター	15	院外 3名 院内 12名
15	12月17日	指導強化加算 施設訪問	感染管理室	5	院外 2名 院内 3名
16	1月21日	感染対策向上加算 合同カンファレンス	感染管理室	26	院外 21名 院内 5名
17	2月18日	指導強化加算 施設訪問	感染管理室	10	院外 7名 院内 3名
18	3月14日	第293回みなのセミナー 第4回みなの認知症フォーラム～認知症と口腔環境～	認知症患者医療センター	17	院外 16名 院内 1名
19	3月18日	第13回みんなの緩和ケア勉強会	がんセンター	52	院外 43名 院内 9名
20	3月18日	指導強化加算 施設訪問	感染管理室	6	院外 3名 院内 3名
				689	院外 442名 院内 247名

No	名称	数量	備考
1	レサシアンシミュレータ 	3	各シミュレータにバックボード・黒バック・空気入れ付き 本体保管バックは2個
2	蘇生トレーニング人形 JAMYⅢ 	9	モデルの肺は、皮膚のボタンをかけること。皮膚のボタンをかけていないと肺が動いて破損の原因となる
3	AED 	9	
4	蘇生セット (工具箱:喉頭鏡、バイドブロック、点滴ルートシリンジ等) 	6	
5	救急カート 	2	
6	バックバブルマスク 	13	引き出し右端の3段目
7	気道確保用模型(赤プラスチック製) 	3	引き出し右端の2段目
8	呼吸音聴診シュミレータ用 ラングTシャツ 	8	引き出し右端の2段目
9	メトロノーム(リズム計) 	1	引き出し右端の1段目
10	気道管理モデル 	1	
11	マット 	3	白地が下・グレイを上で作業をする。作業後は清拭をしてから巻いて元に戻す。
12	CVC穿刺挿入シュミレータⅡ 	2	パットの替えあり
13	縫合手技トレーニングフルセット 	4	
14	外傷コース備品(透明ケース入) 	1	

No	名称	数量	備考
15	眼底診察シミュレータ" EYE"	1	
16	耳の診察シミュレータ" EAR"	1	
17	採血・静注シミュレータ "シンジョーⅡ"	2	水を使用した場合は、乾燥させること、刺入部分の替えあり。
18	手背の静脈注射シミュレータ Aセット	2	水を使用した場合は乾燥させること。
19	小児の手背静脈シミュレータ	1	水を使用した場合は乾燥させること。
20	導尿・浣腸シミュレータ 男性	1	
21	導尿・浣腸シミュレータ 女性	3	
22	心音・呼吸音シミュレータ(2つセット)	1	
23	装着式 採血静脈練習キット "かんとんくん"(5個セット)	2	水を使用した場合は乾燥させること。
24	胃管挿入モデル	1	
25	吸引シミュレータ" Qちゃん"	2	1台は透明ボックスに入っている。
26	高齢者疑似体験セット (浦島太郎)	2	
27	配薬カート	1	
28	動脈採血シミュレータ	1	水を使用した場合は乾燥させること。

No	名称	数量	備考
29	気切用のシミュレータ 	1	
30	PICCシミュレータ 	1	水を使用した場合は乾燥させること。パッドの替えあり。
31	フィジコ 	1	接続物品等は看護部管理
32	褥創ケアモデル 	1	
33	PICC用エコー	1	キャリア開発支援部で保管
34	聴診器(1人用)	1	引き出し右端の1段目
35	聴診器(2人用)	4	引き出し右端の1段目
36	パルスオキシメーター	7	引き出し右端の1段目
37	タイマー	4	引き出し右端の1段目
38	ストップウォッチ デジタル	1	引き出し右端の1段目
39	ストップウォッチ アナログ	1	引き出し右端の1段目
40	ペンライト	8	引き出し右端の1段目
41	駆血帯	多数	引き出し右端の1段目
42	ポケットマスク	8	引き出し右端の2段目
43	マネキンフェイスシールド	複数	引き出し右端の2段目
44	血圧計(デジタル)	3	引き出し右端の2段目
45	体温計	8	引き出し右端の2段目
46	トレイ(小)	18	引き出し左から2番目の4段目
	トレイ(中)	1	引き出し左から2番目の4段目
	トレイ(大)	8	引き出し左から2番目の3段目
47	膿盆	8	引き出し左から2番目の4段目
48	プラバケツ	8	
49	点滴スタンド	4	
50	ベッド	6	
51	パーテーション	3	2枚組2・3枚組1
52	オーバーテーブル	4	
53	ホワイトボード	3	マーカーあり
54	机 可動式(白)	12	
55	机 可動式(茶)	5	
56	机 固定(茶)	1	
57	椅子 ピンク	5	
58	椅子 可動式(青)	5	
59	椅子 固定(青)	15	
60	椅子 黒	1	
61	山内豊明教授のフィジカルアセスメント DVD全10巻	1	キャリア開発支援部で保管

※手袋・エプロン・ティッシュ・ショードック・エタプラスゲル・ゴミ袋・処置用シート等あり(使用可)